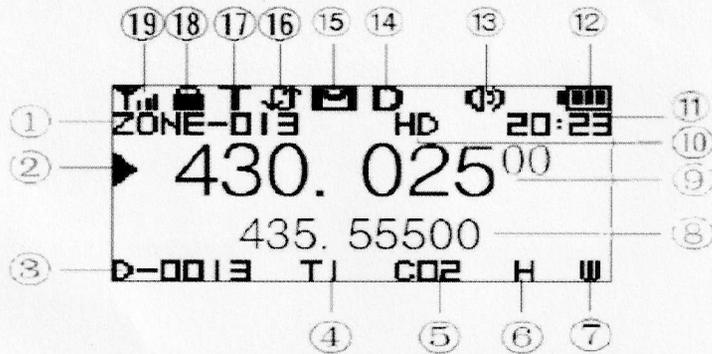
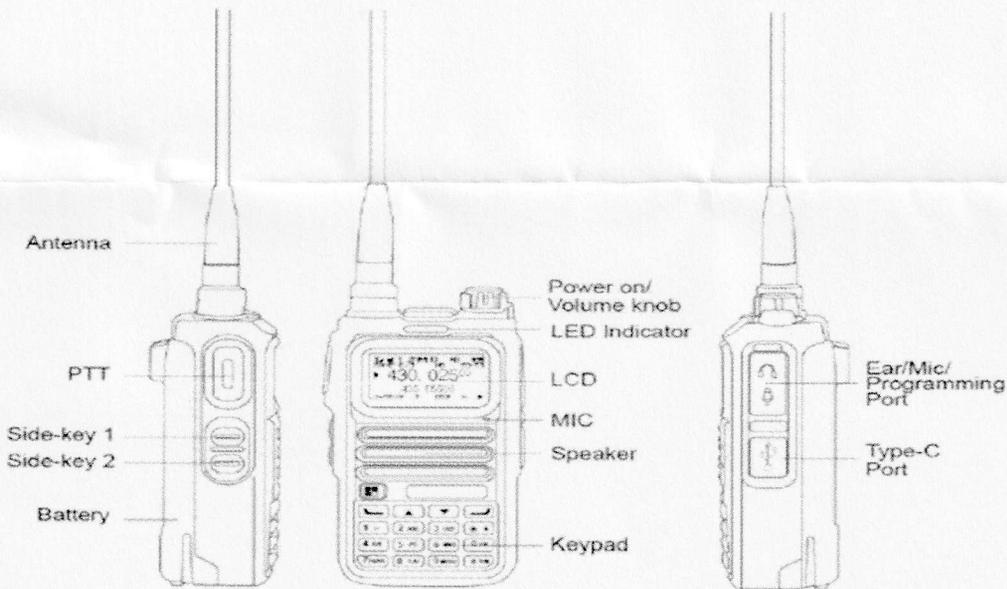


DM-UV4R 簡易スタートアップ



- 1, VFO モード/CH モード/ゾーン XXX モード。XXX は現在の動作ゾーン
- 2, ▶ 主な作業バンド
- 3, D-XXXX はデジタルチャンネル、A-XXXX はアナログチャンネル、XXXX はチャンネル番号です。
- 4, T1/T2 はデジタル チャンネルのタイム スロットであり、AM/FM はアナログ チャンネルの変調です。
- 5, CXX はデジタルチャンネルカラーコード、CTC/DCS はアナログチャンネルサブトーン、ENC はアナログチャンネル暗号化サブトーン、MUT はアナログチャンネルデコードサブトーンです。
- 6, H は高出力、L は低出力
- 7, W は広帯域、N は狭帯域
- 8, サブチャンネル情報
- 9, メインチャンネル情報
- 10, HD はデジタル通話保留状態
- 11, システム時間
- 12, バッテリーレベル
- 13, 警告音声
- 14, デュアル周波数スタンバイ
- 15, 未読の SMS
- 16, 走査
- 17, R は逆周波数、T はトークアラウンド
- 18, キーパッドがロックされています
- 19, 信号アイコン



サイドキー1: PTT 機能及び長押しと短押しの機能 サイドキー2: 長押しと短押しの機能

■ キー メニュー、確認、または DTMF: A

└ アナログモード: DTMF 入力モードまたは DTMF: B デジタルモード: ダイヤル通話モード

└ キャンセルまたはメニューを終了する A/B チャンネルの切り替え

* 短押し: チャンネル番号/チャンネル+周波数/チャンネル名を切り替え、長押し: キーパッドをロック

長押し: チャンネルモード/周波数モード/ゾーンモードの切り替え<<重要>>

VFO モード: (周波数入力) # を押して周波数 (VFO) モードにしテンキーから周波数を 8 桁まで入力します。
チャンネルモード: 本機を2台お持ちの場合のみチャンネルを合わせることでそのままデジタル通話できます。

(アナログセット)

- 01:SQ レベル 0-10 スケルチをオフにするとスケルチが完全に開きます。スケルチは信号がないとき無音に。
- 02:送信開始トーン 送信ボタンを押したときのお知らせ音です。
- 03:送信終了トーン オフ、了解ビーブ 1 ロジャビーブ 2
- 04:シングルトーン 1750Hz キー定義でトーン周波数を編集可能
- 05:マイクゲイン マイクの感度を調整します、値が大きいほど、感度が高くなります。
- 06:SPK ゲイン スピーカーの音量を調整します、値が大きいほど、音量が高くなります。
- 07:検出範囲 入感周波数を検出する周波数範囲を設定。
- 08:リピーター遅延 0-2000ms リピーターの遅延時間を設定
- 09:DTMF 遅延 0-2000ms DTMF 遅延時間を設定
- 10:DTMF 間隔 30-200ms DTMF 間隔時間を設定
- 11:DTMF 持続時間 30-200ms DTMF の持続時間を設定
- 12:DTMF モード DTMF コードのオンオフを設定
- 13:DTMF 選択 01-16 DTMF コード 1~16 を選択
- 14:DTMF ディスプレイ ディスプレイのオン/オフ DTMF デコード
- 15:DTMF TX ガイ 0-127 DTMF 送信ゲインを設定
- 16:DTMF RX TH 0-127 DTMF 受信しきい値を設定する
- 17:DTMF 制御 DTMF 制御のオン/オフ設定
- 18:時間調整 リモート時間調整

(デジタルセット)

- 01:個人 ID デジタル ID:1~16776415 の範囲で設定
- 02:通話音 通話音のオン/オフ
- 03:通話終了音 通話終了音のオン/オフ
- 04:グループホールド 0000 グループ通話の保留時間を設定
- 05:シングルホールド 0000 単一通話の保留時間を設定
- 06:SQ レベル 0-16 デジタルスケルチレベルを設定
- 07:マイクゲイン 0-15 マイクゲインの設定
- 08:SPK ゲイン 0-15 スピーカーゲインを設定
- 09:連絡先セット 電話の連絡先情報を追加、削除、変更するために使用します。
- 10:グループプリセット ユニットの受信機グループプリセット情報を追加/削除/変更するために使用します。
- 11:暗号化セット 1-256

(共通チャンネルセット)

- 01:DMR モード オン・オフ 現在のチャンネル DMR の有効化または無効化
- 02:DMR スロット 01/02 現在のチャンネルの DMR タイムスロットを選択します
- 03:カラーコード 0-15 現在のチャンネルのカラーコードを選択します。
- 04:連絡先 現在のチャンネルの通話連絡先を設定
- 05:RX グループ 現在の受信グループ通話リストを設定
- 06:暗号化 オフ、Kev1-256 現在のチャンネルの音声通話キーを設定
- 07:送信設定 送信禁止設定など
- 08:TX パワー Low/High 1W と 5W の切り替え
- 09:スキャン追加 スキャンリストに追加または削除
- 10:TOT オフ、5 秒~600 秒 タイムアウトタイマーを設定
- 11:CH エイリアス チャンネル名の編集

(FM ラジオ受信)

CD ボタンを押すと FM 状態になり、PTT ボタンを押すと終了します。#ボタンを押すと、FM 受信モードから周波数モードまたはチャンネルモードに切り替わります。周波数モード時は、数字キーを押して FM 受信周波数を入力します。チャンネルモード時は、数字キーを押して FM チャンネルを入力します。

*ボタンを押すと、FM サーチモードからシングルチャンネルモードまたはフルバンドモードに切り替わります。

上下キーを長押しするとチャンネルサーチができます。シングルチャンネルサーチモード中に受信チャンネルを選択すると、サーチを停止します。フルバンドサーチモード中に 16 チャンネルサーチして保存するには、上下キーを長押しします。

(ゾーン設定)

256 のゾーンがあり、編集可能です。現在のゾーンのメンバーを選択するには「-」キーを使用し、削除するには「_」キーを押します。

(周波数検出) リモート CTC/DCS スキャン

周波数検出またはリモートサブトーンデコードモードに入り、デバイスは近くの RX 信号をスキャンします。

* ボタンを押すと、周波数検出モードとリモートサブトーンデコードモードが切り替わります。周波数検出中に終了するには PTT を押し、検出バンドを切り替えるには # を押します。

そのほか

[ロックタイマー] スタンバイ状態で一定時間無線機を操作しないと、キーパッドは自動的にロックされます。*ボタンを長押しするとキーパッドのロックが解除されます。

[ライトタイマー] バックライトの消灯時間を設定します。[オフ]に設定すると、ラジオはタイマーをオフにし、バックライトが自動的に消灯しなくなります。

[メニュー終了] 指定された時間内に操作が行われないと自動的にメニューインターフェイスを終了します。

[保存モード] 省電力機能の設定中に消費電力を節約するためです。ただしデュアルスタンバイ状態では無線機を省電力モードに設定できません。

[スキャンモード] [CO]に設定すると、受信信号が終了すると無線機はスキャンを再開します。[TO]に設定すると、信号を受信した後、しばらくスキャンを続けます。[SE]に設定すると、信号を受信するとスキャンを停止します。

[スキャン方向] 上向きと下向きにスキャンします。

[スキャンドウェル] [TO]状態中の信号滞在時間を設定します。

[スキャンリターン] スキャン終了後に元の状態に戻すには[元の CH]に設定し、現在のチャンネルを維持するには[現在の CH]に設定します。

[アラームの種類] [ローカルアラーム]に設定すると、トリガーアラームがトリガーされるとアラーム音が鳴ります。[リモートアラーム]に設定すると、リモート無線機にアラーム信号が送信され、この無線機自体は音を発しません。[ローカル+リモート]に設定すると、この機能がトリガーされている間、この無線機はアラーム音を鳴らし、リモート無線機にアラーム信号を送信します。[メイン PTT 送信]に設定すると、[エリア A]に設定すると、PTT を押して A バンドで送信します。[メインエリア]に設定すると、PTT を押してメインバンドで送信します。

[CH を保存] 現在のチャンネルを指定されたチャンネルにコピーして保存します。

[CH を削除] 選択したチャンネルのデータを削除します。

[LCD コントラスト] 値が高いほどコントラストが深くなります。設定を完了するには、ラジオを再起動する必要があります。

[初期化] 周波数データは最後のプログラミング状態に戻ります。

以上、